

4/2に開催したタウンホールにおいては、新執行部がISASが直面する経営課題に真正面から取り組むことが宣言された。ISASの強みと変革が必要な部分の識別がされ、どのようなマインドで課題解決にあたるのが示された上で、2040年までを見通した展望が語られた。そして、その途上にある4大リスクが認識される一方で、それらの解決に集中して突破をしていくことで、これまでに獲得してきた「世界の宇宙科学界におけるISASの存在感」を発展させていく道筋があることが語られた。

はっきりしていることは、今まで通りではダメ、
ということ（たぶん、JAXA全体的に）。

ここからいきなり、予算がどうのこうのといっ
たテクニカルな議論を始めたくない。
そもそも、どういうマインドであるべきかを考
えたい。

整理して横通しする。
タテワリしない。

評論しない。
課題解決に参加する。

先回りする。
気付いたことは周囲と共有する。

発信するマインド。
事実の報告だけで終わらず、考えを語る。

強み/変革が必要な部分の確認

- **中型**計画で世界をあっと言わせる：「おおっ！」ということをして、**適正**な規模のミッションで世界で最初にやってみせる。それが**海外計画参加**に繋がる。
- 小型計画の新しい位置づけ、**新小型**：このクラスにおいては、いちいち「成果は何だ？」と細かく問うことはすべきでない。プログラム全体で成果を出すことを考える。
- 「**やってみなはれ**」要素の追加：体幹トレーニング、これがあるからこそ、**中型**計画で世界をあっと言わせるチームが構成できる。
- **発信**するマインド：上記ラインアップ中の各要素の価値は、全体像とそな説明がないと、明快に説明しえないとわかってもらえない。明快な説明がないと、応援してもらえない。